

連結ヒンジ型 河川護岸用張りブロック

特 長

簡単な施工で強固な構造をもち 水中施工も可能な張りブロック



1.強固でかつ柔軟な組み合わせ構造

- ・製品同士のかみ合わせによる連結構造です。
- ・連結金具を使わないため、**耐久性・施工性に優れています。**
- ・ヒンジ部は半円柱形状のため、不陸に対する追随性が良好で、カーブ施工にも柔軟に対応できる形状です。
- ・カーブ施工の最小半径は法長の約7倍以上となります。

2.従来の張りブロックより工費縮減が可能

- ・法肩から施工する場合は、基礎を作る必要がありません。従来通り、基礎を作り下から施工することも可能です。
- ・重ねて置くだけの施工なので、**水中施工にも対応できます。**このため、仮設費の大幅な削減が可能となり、**全体工費を縮減することができます。**

3.環境に調和した構造

- ・Aブロックをメインに使用することで、**約50%の植被率を確保し環境保全型護岸を構築します。**空隙部に現地発生土を中詰めすることにより、施工前と変わらぬ生態環境を創ることが可能です。水中部では、空隙部分が魚類などの隠れ場所にもなり魚巣としての機能も十分です。(植被率：植物が生育することが可能な表面積の割合)

NETIS 新技術情報提供システム

経済性

-2.0%

従来の連結ブロックと比較

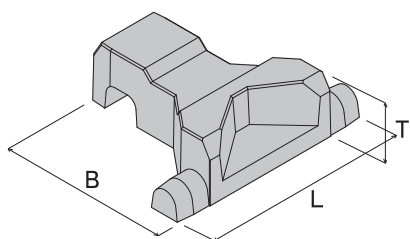
周辺環境
への影響

向上

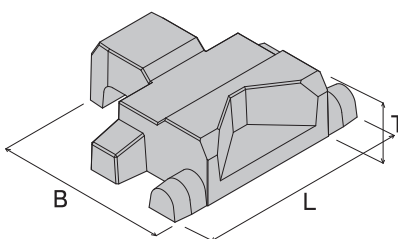
約50%の植被率を確保し、発生土を覆土することで環境に配慮した護岸となる。

製品形状

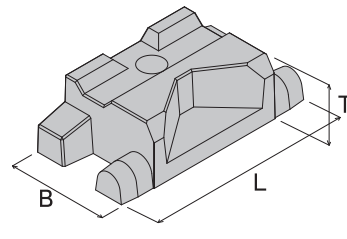
■ Aブロック



■ Bブロック



■ Cブロック



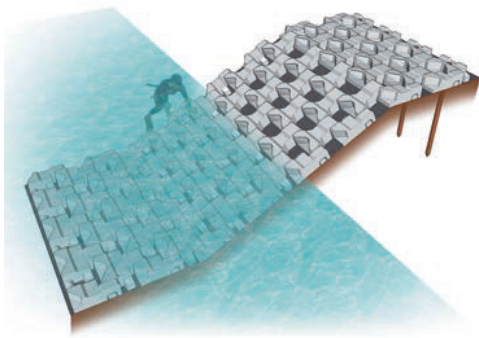
※端部用1/2ブロックもご用意しています。

呼び名	種別	寸法(mm)			参考質量(kg)	中詰量 [※] (m ³ /個)	m ² あたりの数量	
		L	B	T			使用数(個)	中詰量 [※] (m ³)
350T	Aブロック	1200	1000	350	323	0.116	1.14	0.132
	Bブロック	1200	1000		426	0.071		0.081
	Cブロック	1200	600		334	0.012		0.014
250T	Aブロック	1200	1000	250	233	0.084	1.14	0.096
	Bブロック	1200	1000		313	0.048		0.055
	Cブロック	1200	600		254	0.006		0.007

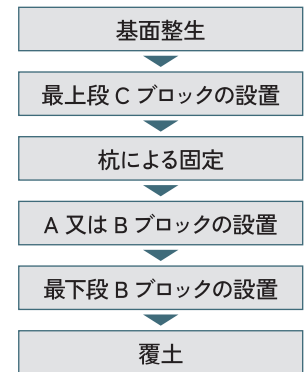
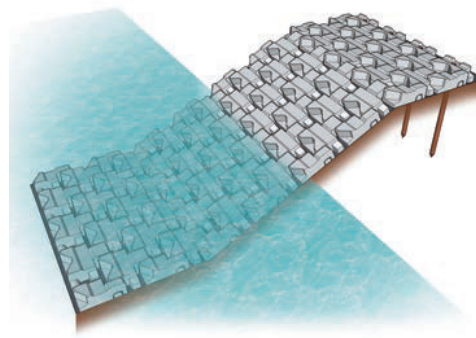
※中詰量は、製品天端面の1段下がったところまで投入した場合。

施工方法 上段から施工の場合(下段から施工することも可能)

■ A ブロック配列

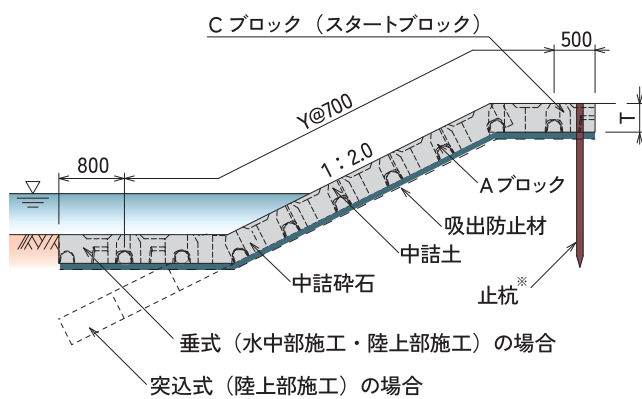


■ B ブロック配列



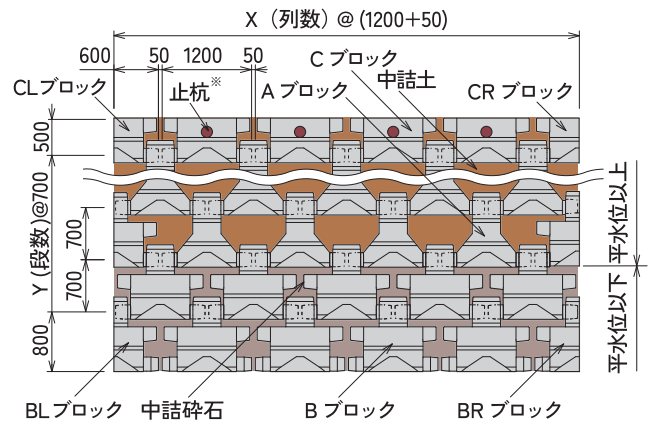
参考断面図

※止杭は、施工条件により不要場合があります。



参考展開図

※止杭は、施工条件により不要場合があります。



曲線施工について

曲線施工の場合、製品同士に隙間をもたせて施工することで対応します。この時、連結ヒンジ部の凹部と凸部の重なりは 100mm 以上重なるように施工してください。内R/外Rそれぞれの場合の最小施工半径は下表の通りです。

設置段数	法長方向製品距離(m)	内 R 最小施工半径(m)	外 R 最小施工半径(m)
5 段	3.4	R20	R15
10 段	6.9	R45	R40
15 段	10.4	R70	R65
20 段	13.9	R90	R85
25 段	17.4	R115	R110
30 段	20.9	R140	R135

